

2026

7月号

No.141

北いぶき



今年も大盛況だった青年部妹背牛支部の豊年祈願焼肉祭り
原稿の締め切りの都合により、関連記事は9月号に掲載いたします。

Contents

●「1日ホクレン」開催	1	●女性部秩父別支部 野菜の青空教室	11
●第2回農事組合長会議	2	●女性部秩父別支部 秩父別学園 菜園の食育事業	11
●第3回現地研修会	2	●女性部沼田支部 部員研修旅行	12
●北海道米生産者交流会	3	●女性部妹背牛支部 部員1日研修	12
●絆 ～THE YOUTH FACE～	4	●女性部妹背牛支部フレッシュミズ会 夏期レクリエーション	13
●JA北いぶき青年部 「青年部の日」開催	5	●沼田支部 寿会研修旅行	13
●北ブロック球技大会	5	●ホクレン新入会職員 令和8年農協実習	14
●北いぶき女性部 部員研修	6	●J A若手職員田植え研修	14
●沼田小学校 田植え体験学習	6	●第67回 空知管内JA野球大会	15
●コープさっぽろ「妹背牛お米たんけん隊」田植え体験	7	●共済一斉推進のお礼	15
●コープさっぽろ「妹背牛お米たんけん隊」草取り体験	7	●新採用職員紹介	15
●蔬菜類生産組合 シシトウ部会 目揃い会・現地栽培講習会	8	●職員動態	15
●ブロッコリー生産組合 目揃い会・圃場巡回	8	●JAバンクより	16
●JA北いぶき女性部フレッシュミズ 3支所交流会	8	●JA共済より	17
●理事会報告	9	●PHOTOだより	21
●女性部秩父別支部 部員研修	10		

ホームページ <https://www.ja-kitaibuki.or.jp/>

JA北いぶき

検索



ホームページ、
Instagramでも
情報を発信しています
ぜひご覧ください！

「一日ホクレン」開催



開会の挨拶をする熊谷和也ホクレン岩見沢支所長（左）

七月二日、本所で一日ホクレンが開催されました。当会議はJ A 役職員、農事組合長会、青年部・女性部、各生産組織代表とホクレン岩見沢支所の課長職以上の職員の総勢六四名が出席し、営農販売事業・経済事業が抱える課題やホクレンへの要望等に対する意見交換を通じて、意思疎通を図り連携強化により問題解決を目的としており、コロナ過もあり八年ぶりの開催となりました。

開会にあたり熊谷和也ホクレン岩見沢支所長は「ホクレンと直接対話し、事業内容をご理解いただ



特定課題の「うるち米をめぐる情勢」について説明する大谷一太郎ホクレン米穀課長（左）

く機会として、日頃の課題・要望等に対し意見交換させていただき、良い出来秋を迎えられるような意見交流会としたいと考えております。今日一日よろしくお願いいたします」と挨拶されました。初めにホクレンから岩見沢支所の令和七年度事業実績、担当部署毎に事業概況や情勢について説明。また、特定課題として「うるち米をめぐる情勢」について、全国需給の状況、七年産市場価格の推移、今後の北海道米の販売について、他、農林水産省の新たな水田政策（コメの中長期対策）の基



ホクレン RTK に対する要望を伝える板垣誠 JA 北いぶき代表監事(中央)

本的考え方・仕組みについて「水田・畑に関わらず、土地生産性の向上、労働生産性の向上の双方を進め、多様な需要に応じた生産による田畑フル活用により食料安全保障の強化を図る」と説明がありました。

意見交換では事前に取りまとめを行い、「米価に関する要望やホクレンの在庫量」「陸稲」についての質問や「生産資材・肥料の価格」に対する意見、「ホクレン RTK のバージョンアップ対応の要望」等、多くの意見・要望と



懇親会では各テーブルで談笑しつつもそれぞれの立場で意見を交換しました

して提出された全三十五項目について、一項目ずつホクレンの担当部署から丁寧な回答・解説がありました。現場生産者の実情とホクレン職員の生の声を踏まえた意見交換が行われ、大変有意義な場となりました。

意見交換終了後は、秩父別町ふれあいプラザにて懇親会を開催。焼肉を囲みながら、意見交換では伝えられなかった想いや要望をそれぞれの立場で話し合い、お互いの理解を深めることが出来ました。

第二回 農事組合長会議



秩父別地区

六月十五日、本所にて第二回農事組合長会議を開催しました。
普及センターから、六月一日時点での水稻の生育状況や秋まき小麦・大豆・そばの生育状況について解説がされました。
またJAからは、うるち米を



沼田地区

めぐる情勢、令和八年秋まき小麦・大豆実証圃の設置について、健康管理推進・農業新聞等の助成、第九次地域農業振興計画・農協中期計画に係る組合員意向調査等についてを説明させていただきました。

第三回 現地研修会



沼田地区

六月十一日、十六日、十七日に各農事組合にて第三回現地研修会を開催しました。
普及センターから、主に水稻・畑作栽培における各種対策について解説がされました。



妹背牛地区

その後、JAから「ワキ」の発生状況と対策、カメムシ・いもち病予察体制、令和八年秋まき小麦・大豆実証圃MAPについて案内させていただきました。

北海道米生産者交流会

ホクレンと北海道米販売拡大委員会は七月二日、「ななつぼしの日」に合わせて「北海道米生産者交流会二〇二六」を札幌市教育文化会館で開催しました。

本イベントは取引先による講話や交流を通じて関係者同士が思いを共有し、つながりを深めるために開催され、当JAからは青年部、女性部合わせて七名が出席しました。



来賓ご挨拶で鈴木直道北海道知事は昨年の米価格高騰や政府備蓄米の売渡しなど、先行きを見通しにくい状況の中で、生産者が苦慮しながらも努力を重ねていることに感謝を述べられました。

第一部は、ホクレンの取引先であるセブン・イレブン・ジャパンのシニアマーチャンダイザー渋谷克彦さんによる基調講話が行われ、コンビニでおいにぎり販売の先



駆けとなった話や、今やおにぎりは日本人のみならずインバウンドの需要が大きいとの話を伺うことができました。

第二部では、北海道米CMイメージキャラクターのマツコ・デラックスさんとホクレンアンバサダーの森崎博之さんがステージに登壇。

会場から大きな拍手で迎えられた森崎さんは自身の出演番組「あぐり王国北海道」が十九年目を迎えたことに触れて「農業の明るく、面白く、愉快な側面を伝えて行きたい」と意気込みを



語り、続いて登場したマツコさんは昨年はけがのため交流会に参加できませんでしたでしたが念願の札幌入りを果たし、来場した約七五〇の生産者を前にごはんの独特な食べ方や北海道米への愛溢れるお話を伺い、北海道米と生産者へ熱いエールをもらえたイベントとなりました。



絆

～ THE YOUTH FACE ～

就農したきっかけ

中学生の頃、私は「父親の跡を継いで農家になるのかな」となんとなく考えていました。このような経緯で父親がかつて通っていた酪農学園大学に進学。そして卒業したものの、特にやりたいことやなりたい職業もなかったため、就職はせずに実家に戻り就農しました。

最初は肉体労働がきつくて、このまま農業を続けられるか不安でしたが、今年で就農三年目になり、農作業の一年間の流れを理解し、農業機械に乗る機会も増え、徐々に農業という仕事が好きと感じられるようになりました。

農業を行っていく上での想い

今後の農業においては、スマート農業やAI技術を積極的に学び、効率的かつ持続可能な経営を実現したいと考えています。気候変動や高齢化など、農業を取り巻く課題が深刻化する中でも、環境に配慮した栽培方法を実践し、次世代へとつなげる農業を築いていくことが私の目標です。

青年部活動について

実家に戻って就農した当初は、周りに知り合いも少なく、年の近い農家もあまりいなかったため、周りの農家の方と話す機会が少なく、不安を感じていました。

しかし青年部に入り、多くの先輩方と交流ができ、友達といえる人ができたことは、営農するうえで



よこやま たくみ
横山 拓海さん

沼田地区・沼田東部東農事組合

作付品目
水稻、麦、大豆



家族への想い

でも人生にとっても大きな支えになっています。地域のお祭りや行事に参加し、多くの仲間と地域活動ができることを嬉しく感じています。まだ、青年部活動にあまり参加できていませんが、これからは積極的に参加する機会を増やして、周りと切磋琢磨したいと考えています。

最初は分からないことばかりでしたが、就農して間もない僕に父が田植え機やトラクターなどの農業機械に乗る機会をたくさん与えてくれ、ミスしても運転や操作のコツ、改善方法を教えてくれる



おかげで、日々成長できていると思います。また母、祖父、祖母は、至らない点が多い僕に、何一つ文句を言わず一緒に仕事をしながら支えてくれており、心から感謝しています。

農業という仕事は現状維持だけでは、これからの時代の変化に対応していくことは難しいと感じています。これからも家族が持つ農業の知恵を身につけ、考えを尊重しつつも自分なりに試行錯誤していけたらと思います。



六月十三日、JA北いぶき青年部（堀祐介部長）は、秩父別ファミリースポーツセンターにてJA職員との交流を目的とした「青年部の日」を開催しました。

JA北いぶき青年部 「青年部の日」開催



新入JA職員は自身の趣味を紹介

当日は盟友とJA職員の計八九名が一〇チームに分かれてミニバレーで対決。会場は終始、熱いプレーと笑い声に包まれていました。競技後には、ふれあいプラザへ会場を移して焼肉親睦会が開かれ、新入盟友・新入JA職員紹介では元気な挨拶を行い、和やかな雰囲気の中で双方の親睦が一層深まりました。



山本一成さん（秩父別地区・北新）

JA空知青年部連合会北ブロック主催の第五〇回球技大会が六月十九日に開催されました。会場の深川市石狩緑地野球場には、同北ブロック所属の農協青年部全八チーム一五四名が参加。種目は例年通りソフトボールで、熱戦が繰り広げられました。結果は沼田支部が惜しくも準優勝となり秩父別、妹背牛支部は接戦の上、一回戦で敗れてしまいました。地区の垣根を超えた熱いエールを送り合い、大いに盛り上がりました。

北ブロック球技大会開催



大会終了後は、表彰式、懇親会を行い数多くの仲間たちと親睦を深めました。



北いぶき女性部

部員研修

J A北いぶき女性部（田坂智恵美部長）は六月二十二日に秩父別町ふれあいプラザで部員五九名が参加し部員研修を開催しました。

今回の研修は毎年のアンケートで「次もモルックがいい」との要望が多数寄せられ、恒例となりつつある「モルック」を行いました。

モルックとは木の棒を下手投げで投げ、一十二の数字が書かれた十二本の木製ピンを倒し、びったり五〇点に到達したチームが勝利となります。参加者の皆さんは年々上達しており、試合開始から早々に、五〇点に到達して試合を終えるチームもありました。接戦の末、勝利したチームはハイ



タッチをして喜ぶなど、会場は大いに盛り上がりました。研修終了後は、チームごとに焼肉を囲み、ビンゴ抽選会を行いました。ながら部員同士の交流を深めました。



沼田小学校

田植え体験学習

五月二十一日、沼田町内の水稲生産者の圃場で、沼田小学校五年生二一名が田植え体験を実施しました。

体験を行い、児童たちが収穫したお米をプレゼントする予定です。

最初にJ A職員から苗の植え方や圃場での歩行について指導を受けました。最初は素足で田んぼに入ることとをためらう児童もいましたが、田植えが始めると、慣れない土の感触に元気な声が響き渡り、児童たちは泥まみれになりながらも隣の児童と競い合うように真剣に作業に取り組みながら、「土の感触が気持ちいい」「大変だったけど楽しかった」といった感想を話していました。



真剣に田植えに取り組む児童

秋には稲刈り体験や粃摺り、脱穀



コープさつぽろ 「妹背牛お米たんけん隊」田植え体験

コープさつぽろ「妹背牛お米たんけん隊」が五月十七日に妹背牛町内のふれあい農園に訪れ、風もなく暖かな晴天の中で田植え体験が開催されました。

一行到着後は佐藤悟妹背牛町農業技術指導員の進行で、恒例のラジオ体操で体をほぐしました。

その後、佐藤指導員から手植えの手順や注意点などの説明を受け、田植え体験がスタート。田んぼに入って泥だらけになりながらも、熱中した様子で田植え作業が進んでいきました。並行して田植え機の乗車体験が始まるとみなさん興味津々で、実際に操縦を体験した参加者は「まっすぐ進めるのが難しかった」と楽しそうに感想を述べられました。

妹背牛支部の青年部・女性部の協力もあり無事に田植えを終えると、昼食には妹背牛産米「ななつぼし」を使用したカレーライスを堪能。

午後からは二班に分かれ、じゃがいもの播種体験とお米のカントリー施設の見学が行われました。

最後に、次回開催される予定の草取り体験での再会を約束して、田植え体験は終了しました。



コープさつぽろ 「妹背牛お米たんけん隊」草取り体験

田植え体験からおよそ一か月後の六月二十日、前回の参加者が再び妹背牛町内のふれあい農園を訪れ、コープさつぽろ「妹背牛お米たんけん隊」草取り体験が開催されました。この日はうっすら雲がかかった、暖かな空の下で、佐藤悟妹背牛町農業技術指導員の進行による恒例のラジオ体操で体をほ

ぐし、草取り体験がスタートしました。

田んぼの草取りは約一か月間すくすく成長した稲を抜き取ってしまわないように万全の注意を払って行われました。草取り作業がスムーズに終わると、次はかし作りを行いました。子ども達はみんなでかかしに顔を描き入れ、名札も作成してかかしが完成しました。その後、出来上がったかかしと集合写真を撮影。

昼食には妹背牛産米「ななつぼし」と一緒にジンギスカンを囲み、ジュージューと焼ける音と香りを楽しみました。

午後からはいちごの収穫体験を行い、参加者は甘さたっぷりに赤く実ったいちごの収穫を楽しみながら美味しく味わいました。

前回の田植え体験で持ち帰ったバケツ苗用の追肥を各家庭にお配りして、草取り体験は終了しました。

蔬菜類生産組合 シシトウ部会 目揃い会・ 現地栽培講習会

六月三日、蔬菜類生産組合シシトウ部会（山下晴治部会長）は、秩父別支所選果場にて、令和八年度目揃い会・栽培講習会を開催しました。

目揃い会では、JAよりシシトウの出荷取扱要領・出荷規格について説明し、生産者の皆様に栽培時の注意点や出荷時のサイズ別の入本数・詰め方・量目を改めて確認しました。

現地栽培講習会では、農業改良普及センター北空知支所の志和一也専門主任より栽培管理について、ハウス内の温度管理や水管理、追肥・農薬使用時の注意事項等、多岐に渡ってご説明いただきました。

ブロッコリー生産組合

目揃い会・圃場巡回

七月十四日、北いぶきブ

お招きしました。

ロッコリー生産組合（宮西貴志組合長）は、秩父別支所農産物集出荷施設にて目揃い会並びに圃場巡回を開催しました。当日は日頃お世話になっている滝川地方卸売市場の大浦祐哉係長を

宮西組合長の挨拶後、JA職員より出荷規格や品質基準等について、農業改良普及センター北空知支所の志和一也専門主任よりこれまでの気象・生育経過と今後の病害虫対策について、



農業について説明を受けている様子



それぞれ説明が行われました。続けて、当日出荷・選果された製品の状態と等級を全員で確認した後、現在の生育状況を確認するため、二カ所の圃場を巡回しました。

JA北いぶき女性部 フレッシュユミズ

三支所交流会

七月八日、JA北いぶき女性部フレッシュユミズは三支所交流会を開催し、深川市のアグリ工房まあぶにてウインナー作り体験を行いました。今年の交流会には新入会員も参加し、秩父別支所四名・妹背牛支所六名・沼田支所七名の計十七名が参加しました。

ウインナー作りの工程



は、お肉を捏ねたらキットを使ってお肉がぎつしり詰まるように腸詰めをしています。腸詰めが完了したら両端をしっかり縛ってから好みの長さに振じって成形していきます。その後は温度管理をきっちり行なった上で一〇分間ボイルをして、仕上がりには冷水と氷で十分冷やします。最後にお持ち帰り用の袋に詰めて、体験は終了しました。

体験後は同施設内で懇親会を開催し、食事をしながら、参加者全員でビンゴを楽しみました。

参加された会員は他支所会員との貴重な交流の機会となり、今年度も会員同士の親睦を深めるために、冬季の交流会も計画中です。

理事会報告

第三回理事会（五月八日付）

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 準職員の賃金改定（令和八年四月基準）について
- ポイント制による年末手当支給基準要綱の設定について
- 経営定期点検の実施結果について
- 新採用職員等の農家実習について
- ホクレン新採用職員の農協・農家実習について
- 組合員への火災見舞について
- 令和八年度における参与の出席会議体等について
- 職員の動向について
- 職員の定時給与に改定について
- 地区別組合員との懇談会に係る意見要望について
- その他

金融共済事業本部

- 長期資金の貸し出し状況について
- 与信取引に関する利用者への説明態勢にかかる規則の一部改正について
- J Aバンク経営戦略の策定について
- 令和八年度特定組合員営農計画

の報告について

- 令和八年度長期共済一斉推進要綱の制定について

営農販売事業本部

- 「J A北いぶき中期経営計画策定要領」「J A北いぶき農業振興計画策定要領」、並びに「J A北いぶき農業振興計画策定協議会設置要領」の一部改正について

購買施設事業本部

- 購買施設事業実績検討表（三月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和七年度信用事業並びに財務状況に関する説明資料（ディスクロージャー誌）の作成及び縦覧について

議案第二号

妹背牛町への寄附採納について

議案第三号

出資金の譲渡について

議案第四号

指定管理資産（固定資産）の取得について

議案第五号

指定管理資産（固定資産）の取得について

議案第六号

理事に対する利益相反取引の承認について

【協議事項】

- 「第九次地域農業振興計画書」並びに「第九次農協中期経営計画」について

第四回理事会（五月二十九日）

【報告事項】

内部監査室

- 内部監査の品質評価について
- 令和六年産米穀の共同計算結果について

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 令和七年度J A財務モニタリングについて
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費等の支出について
- 余裕金運用計画額について
- 疑わしい取引の届出状況について
- コンプライアンス定期報告について
- 不祥事ゼロ運動の取り組み状況について
- マネロンの信用事業報告について
- 令和七年度 支所別・部門別損益計算書について
- その他（職員給与一覧表 別冊）

金融共済事業本部

- 長期資金の貸し出し状況について
- 地区別組合員 階層区分資料について
- 農業経営基盤強化資金の無利子化枠の選定について
- 令和八年度農地担保評価基準額の設定について

営農販売事業本部

- 令和八年度新規就農者について
- 水稻移植状況について

- 令和六年産米穀の共同計算結果報告について
- 令和六年産米の最終精算について

購買施設事業本部

- 令和八肥料年度 北海道肥料価格について（令和九年使用）
- 購買施設事業実績検討表（四月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和六年産米穀共同計算精算に係る監事監査報告について

議案第二号

職員に対する定時給与（夏期手当）の支給について

議案第三号

令和八肥料年度（令和九年使用肥料）の早期予約推進および奨励要領（案）について

議案第四号

営農灯油および大口奨励対策措置について

議案第五号

令和八年産米穀の出荷契約について

議案第六号

令和八年産・九年産農産物の出荷契約について

議案第七号

「野菜共同選果施設業務規程」の一部変更について

議案第八号

理事に対する利益相反取引の承認について

議案第九号

理事に対する利益相反取引の承認について

議案第十号

出資金減口について

【協議事項】

○令和八年産JA北いぶき米取り扱い方針について

○「第九次地域農業振興計画」並びに「第九次農協中期経営計画」策定に向けた組合員意向調査について

○令和一〇年の役員改選へ向けた役員定数・参与の体制について

第五回理事会（七月二日）**【報告事項】****管理本部**

○当面における農協行事予定について

○組合員の加入・脱退等の申し出について

○固定資産の取得・処分、主要修繕費の支出について

○令和七年度主要系統連合会決算概要について

○経営定期点検の実施報告について

○令和七年度自己申告書主要意見に係る回答について

○JA北いぶき子会社等（北空知広域連・空知ガス・北空知自動車整備協同組合・まちづくりぬまた）の決算資料について

○渡会久美子氏よりご厚志の受領について

○職員の動向について

金融共済事業本部

○長期資金の貸し出し状況について

○共済一斉推進の実績について

○主要金利の動向について

営農販売事業本部

○令和八年産米の出荷契約状況について

○令和八年産大豆・そば並びに令和九年産小麦の出荷契約状況について

○令和七年度北空知広域連花卉施設収支決算について

○農作物生育状況（六月十五日現在）について

○令和八年産米「生産の目安」取り組み状況について

○新たな水田政策の基本的な考え方・仕組みについて

購買施設事業本部

○購買施設事業実績検討表（五月末）について

【決議事項】**議案第一号**

「ちつぶべつ夏まつり実行委員会」に対する寄附採納について

議案第二号

「もせうし町民まつり実行委員会」に対する寄附採納について

議案第三号

信用限度超過者に対する貸し付けの承認について

議案第四号

理事に対する利益相反取引の承認について

女性部秩父別支部**部員研修**

女性部秩父別支部（山本清美支部長）は六月十七日に部員一五名で美瑛方面へ日帰り研修を実施しました。

今回は藍染体験を行い、部員の経験者の勧めで「藍染結の杜」を訪問しました。ここでは持ち込んだ服や手ぬぐいなどを染めることができますが、部員たちはランチョンマットを選び、三種の模様の中から一つ選んで染め上げを行いました。きれいな模様が出るようにそれぞれ輪ゴムでしっかりと縛って染料に浸せば完成です。世界に一つしかない自分だけの藍染品が出来上がりました。

その他にも北西の丘展望公園・四季彩の丘を巡り、時期が早かったため満開の花を見ることはできませんでしたが、美瑛の美しい景色を一望することができ、当日は暑い一日となりましたが、大変充実した研修となりました。



女性部秩父別支部 野菜の青空教室

四月二十七日、女性部秩父別支部（山本清美支部長）は北新地区のすみれ会が主催する野菜講習会に同席する形で普及センターから講師をお招きし、野菜の青空教室

を開催しました。

主な内容は生姜についての講習会。北新地区の植田百合子宅のハウスで普及センター志和一也専門主任による指導の下、実際に生姜

を植え、「肥料はほどほどが良いが水やりはこまめにやること」、「温度管理や植える際の注意点」などを説明していただきました。

次に、北新会館に場所を移し、資料を基に生姜の温度管理や追肥、家庭菜園で育てられる花について学びました。

最後に質疑応答の時間を取り、家に帰ってから植えてみるための疑問点などたくさん質問が出され、とても充実した講習会となりました。



女性部秩父別支部 秩父別学園 菜園の食育事業

女性部秩父別支部（山本清美支部長）は、秩父別学園から「野菜作りの得意な女性農業者に栽培方法を指導してほしい」との依頼を受けて、六月四日に同学園の菜園で一〜六年生・まなび学級を対象

に、食育事業を実施しました。

学年ごとに植える場所を区切り、女性部、フレッシュミズ、エルダー、そして児童たちの保護者など合計一六名がきゅうりやトマト、すいか、じゃがいもなどの野菜を児童たちと一緒に定植

しました。二時間目と三時間目のグループに分けて実施し、先生方のサポートもあり、無事に定植作業を終えることが出来ました。

令和五年からスタートした食育事業ですが、昨年は小学校と中学校が統合され校舎の増設工事のため菜園が使用できずこの事業は中止となりましたが、今年は地域の子どもたちと関わる事業実施することができました。今後は野菜が成長するまで随時、生育状況の様子を確認して収穫までの過程をサポートする予定です。

女性部沼田支部

部員研修旅行

女性部沼田支部（田坂智恵美支部長）は六月二十四日・二十五日に、帯広方面へ部員研修を実施し、部員二〇名が参加しました。

今年度は、池田町にある「池田ワイン城」と、芽室町にある「明治なるほどファクトリー十勝」を訪問。

池田ワイン城では、地下熟成室にてフレンチオーク樽で眠るワインやオールドビンテージを見学し、ガイドスタッフからワイン城の成り立ちや使用されている樽について学び、地下熟成室で眠るワインの香りを感じました。

明治なるほどファクトリー十勝では、展示ホールにある巨大なカマンベールチーズ型ディスプレイでチーズの種類や歴史を学びました。その後は、ガラス越しに広がる製造ラインを見学して実際に製造されているチーズの試食も行い、安全・

安心なものづくりと食と健康へのこだわりを感じました。

昨年度より多くの部員に参加いただき、終始会話を弾ませながら、充実した二日間を過ごすことができました。



女性部妹背牛支部

部員一日研修

女性部妹背牛支部（橋向美月支部長）は七月一日に栗山・岩見沢方面へ部員二三名参加し、部員一日研修を開催しました。

はじめに栗山町の「谷田製菓」を見学しました。日本一きびだんごの製造工程を見学し、実際にきびだんごの試食をさせてもらい、たくさんのお土産もいただきました。次に「小林酒造・北の絹記念館」へ行き、レンガ造りの酒蔵をご案内いただき、小林酒造の歴史とともに酒造工程も詳しく理解することができました。

その後は北広島市へ向かい、「くるるの杜農村レストラン」で昼食を取りました。buffetスタイルの新鮮な野菜を使った料理を堪能し、食後は併設の直売所で買物を楽しみました。

午後からは岩見沢市へ移動して、「宝水ワイナリー」を見学しました。ワイナリー内の売店ではワインの試飲することもでき、手作りのぶどうシロップがかかったソフトク

リームを食べて過ごしました。

その後、砂川市の「みんなの工場 by SHIRO」へ行き、施設内の見学と店内ショップで買い物を楽しみました。

滝川市の「松尾ジンギスカン滝川本店」で夕食を取り、本年度の研修を終了しました。



女性部妹背牛支部フレッシュミズ会 夏期レクリエーション

女性部妹背牛支部フレッシュミズ会（熊谷美幸会長）は、六月四日に妹背牛町保健センターにて、会員五名と体験入会者一名の計六名で、妹背牛町の老舗「大黒屋菓



子舗」の須見一貴さんを講師にお迎えし「ロールケーキデコレーション体験」を開催しました。始めに講師が生クリームを泡立て、ロールケーキを一本作る

ところを見せていただき体験がスタート。初めにいちごをカットしてロールケーキの生地を生クリームをのせ、生地全体に均等に塗り拡げてからいちごをのせていきます。並べられたいちごの隙間を埋めるように生クリームを絞ってのばしたら、巻きの工程へ。最後はさらに生クリームといちごをトッピングして、ロールケーキが完成しました。

皆さん大満足な様子で、和気あいあいとした雰囲気の中体験が終了しました。

終了後に体験入会者とお弁当を食べながら歓談し、のんびり笑い合える楽しい時間を過ごしました。

沼田支部

寿会研修旅行

女性部沼田支部寿会（横山和子会長）は七月八日・九日に知床方面への研修旅行を実施し、一二名の会員が参加しました。

一日目は、北見市にある「北の大地の水族館」にて、日本最大の淡水魚・イトウや、温根湯温泉の温泉水で美しく育った熱帯淡水魚を鑑賞しました。ふれあいタッチコーナーではドクターフィッシュと触れあうことができ、淡水魚について見て触れて学びました。

二日目は、斜里町にある「知床観光船おーろら」に乗船し、世界自然遺産・知床半島を鑑賞しました。カムイワッカの滝などを展望デッキや客室から眺めることができ、潮風とともに広がる大自然を楽しみました。

その後は昼食をとり、網走市にある「フラワーガーデンはな・てんと」を訪問。見頃前だったため、満開の花々を見ることはできませんでしたが、成長途中のサルビアやマ



リーゴールドなど色とりどりの花々を鑑賞しました。

二日間天候にも恵まれて、会員全員が有意義な時間を過ごすことができました。



左からホクレンの砂村職員、矢口職員、下和田職員

五月七日から十八日にかけて今年度のホクレン新入会職員三名が当JAで農協実習を行いました。実習内容は生産資材課での玉ネギ苗の予約販売に向けた梱包作業や組合員向けの郵送資料の折り込み補助、ホクレン給油所では接客業務やオイル交換・タイヤ交換の補助作業、また、組合員圃場ではトマトの定植、田植え前のゴミ上

ホクレン新入会職員 令和八年農協実習

げ、田植え作業などの農作業を体験しました。

参加されたホクレン職員からは「生産者の皆さんの苦労やJAでの業務を知り、食材が食卓に届くまでの大変さを肌で感じ、その価値の大きさを深く理解することができました。この貴重な経験を、今後の業務に役立ててまいります」と話されました。



共済事業部共済課 澤又職員

五月十八日から五月二十六日までの間、当JAでは農事組合長の皆さまにご協力をいただき、若手職員を対象とした農家実習を行いました。農家の実情を肌で感じ、より理解してもらう目的で、組合員さんの圃場で田植えを中心とした農作業を経験させていただいております。受け入れにご協力いただいた皆さまに改めて感謝申し上げます。参加職員一同、JA職員として、皆さまのご期待に応えられるよう

JA若手職員田植え研修

努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



生産資材事業部生産資材課 小金職員



金融事業部融資経済課 玉沢職員

第六十七回 空知管内J A野球大会

六月二十九日、三十日に長沼町運動広場野球場にて第六十七回空知管内J A野球大会が開催され、管内J A並びに連合会から全九チームが参加しました。J A北いぶきは初戦でJ Aながぬまと対戦し、二回表に先制を許したものの、その裏に打線がつながり一挙四点を奪って逆転。さらに四回裏にも四点を追加し、八対一のコールド勝ちし、一回戦を突破。

準決勝では、一昨年まで四年連続優勝のJ Aきたそらちと対戦。四回裏に一点先制し、五回裏にも一点追加し、試合を優位に進め、六回表に一点を返されたものの、その裏に再び一点を追加して三対



山本職員



堀口職員 (左)

一とリードしました。しかし、最終回の七回表に四点を奪われ逆転を許し、三対五で惜しくも敗れました。

応援に駆け付けた役職員からは、最後まで全力でプレーした選手たちへ温かい拍手と労いの言葉が贈られました。



共済一斉推進のお礼

六月二日から三週間にわたり、秩父別地区・妹背牛地区・沼田地区の組合員の皆様に共済契約内容の説明と「ひと」に関する保障「いえ（建物）」に関する保障の内容充実についての提案をさせていただきます。

組合員の皆様のお宅を訪問した際にはお時間を割いていただき、訪問推進にご協力くださいましたことを心からお礼申し上げます。

保障提案につきましては、「ひと」との保障では、抗がん剤治療や在宅医療も保障する「がん共済」、短期間入院の保障充実や六五歳以上の万が一保障を見据えた生命保障の見直し、身近な生活習慣病のリスクに備える「特定重度疾病共済」、働きなくなるリスクに備える「生活障害共済」のご提案、「いえ（建物）」の保障では、昨今の物価高騰に伴う建築資材等の値上がりに見合った保障額の増額提案をはじめ、近年、多発している地震や強風被害、雪害、豪雨による水災災害等の自然災害の備え、建物収容物の盗難被害への備えとして「建物更生共済」のご提案を中心に、もしものときの生命・医療保障から損害保障まで利用者視点に立ったさまざまな保障プランの説明をさせていただきました。

新採用職員紹介



さいとう 齋藤 拓也
秩父別支所
米穀課 米穀係

秩父別支所 米穀課に配属になりました。
前職は小売業に約一五年ほど勤めておりました。
全く異なる業種に携わることになりましたが一日でも早く皆様のお力になれるよう精一杯努めて参ります。
どうぞよろしくお願いいたします。

職員動態

□中途採用 職員（七月一日付）
齋藤 拓也
秩父別支所 米穀課 米穀係

QR伝票作成ツール

JAバンクのホームページから伝票を簡単に事前作成

伝票の
手書きが不要！



窓口でのお手続きが
スピーディーに！

©よりそう

QR伝票作成ツールとは

本サービスは窓口でのお手続きに必要な伝票をご作成いただけるサービスです。
伝票作成のデータ入力にご利用いただけるものであり、お手続きが完了するものではありません。

■対象のお取引

お預入れ（入金申込書）、お引出し（払戻請求書）、お振替（払戻請求書）、お振込（振込依頼書）、給与振込（振込依頼書）

POINT
1

手書きが不要（※1※2）

ご自宅・オフィスなどインターネット環境があればお手続きに必要な伝票を作成できます。

POINT
2

取引所要時間の短縮

事前にお取引伝票を作成いただくことで窓口でのお手続きが簡単・スピーディーになります。

POINT
3

**一度作成したデータを
再利用可能**

一度作成したデータをお客さまのパソコンに保存して、次回ご利用時にアップロードして再利用可能です。

※1：各伝票のお取引日・ご依頼日についてはご記入をお願いします。

また、入金申込書、払戻請求書については、個人事業主（屋号付きを含む）および個人名義のお口座の場合、おなまえ欄にご署名をお願いします。

※2：払戻請求書へのお届印押印が必要です。

ご利用の流れ



伝票イメージ

手書き
負担が軽減

一度に複数件数の
処理が可能

自宅等で
印刷可能

お問合せ先 お問合せ先・ご相談は **JA北いぶき** へ

本所貯金課 TEL: 0164-33-2012
妹背牛支所貯金共済課 TLE: 0164-32-2180
沼田支所貯金共済課 TEL: 0164-35-2222

詳しくは QR 伝票作成ツールの商品説明ページへ
<https://www.jabank.org/qv-tool/>



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



いえ

いえの保障

2026.4

火災のリスクについて考えましょう。

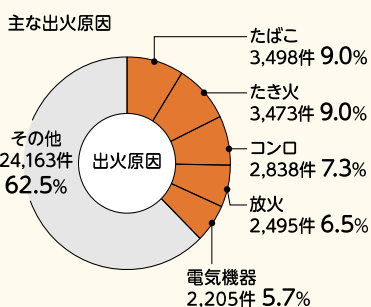
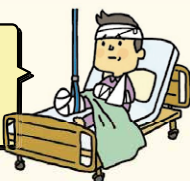
1年を通して火災が多く発生しています。

約13分35秒に1件
火災が発生！

放火など、
自分では防げない火災も…

出火件数
年間
38,672件

1日あたりの
死者・負傷者
約19.9人



消防庁「令和6年版 消防白書」をもとにJA共済連試算

火災により
こんな損害が生じます。



全焼が生じたケース

建物の 建替費用	家財等の 買替費用
火災跡の 片付費用	仮住まいの費用

などがかかります。

ぼやが生じたケース

クロスの交換、電気配線の交換等、
修理に必要な材料費や人件費等

損害額 約40万円

※損害額は、JA共済連試算による一例です。
損害の状況、材質等で異なります。



火災では**想定以上の修理費用が発生**。避難時にケガをすることも。

自分で注意しても防げない「**もらい火**」にご注意ください。

もらい火
とは？



自分の家が近隣の火災に巻き込まれることをいいます。

「**失火責任法**」により、出火元が火災の保障に入っている近隣の家までは
保障されず、また損害賠償請求ができないことがほとんどです。

失火責任法
(失火の責任に関する法律)

「失火責任法」では、家で火事が起こり、近隣の家に燃え移ったとしても、故意または重大な過失があった場合を除き、**出火元の家主は損害賠償責任を負わない**としています。

もらい火の損害は自己負担のおそれ。ご自身で備える必要があります。

※令和8年1月末時点の法令等にもとづき記載しています。

詳しくはお近くのJA
(または担当者)に
お問い合わせください。

お問い合わせは

JA北いぶき

本所	共済課	0164-33-2011
本所	共済普及課	0164-33-2011
妹背牛支所	貯金共済課	0164-32-2451
沼田支所	貯金共済課	0164-35-2221

 **JA共済**

©JA共済

2026.4 26488000165 (141)

いえ



いえの保障

2026.4

家財をとりまく火災のリスクについて考えましょう。

火災の損害は、**火によるものだけではありません。**

火災による損害とは？



火による損害だけでなく、**放水により電化製品などの家財が水ぬれ**した場合、思わぬ損害が生じてしまいます

火災時は、**放水(消火活動)により家財に損害が生じる**ことも。

火災にあうと**家財にこんな損害**が生じます。

ぼやにより家財が燃えてしまったケース



左の写真のケースの場合



テレビ

ブルーレイ
レコーダー

本棚

などの買い替え費用が必要となります。

「ぼや」であっても、思わぬ出費になることも！

詳しくはお近くのJA
(または担当者)に
お問い合わせください。

お問い合わせは

JA北いぶき

本 所 共 済 課 0164-33-2011

本 所 共 済 普 及 課 0164-33-2011

妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451

沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

 **JA共済**

いえの保障はJAにご相談を



1つでも該当する方、ご相談ください!

CASE 01 保障の更新が近い方



CASE 02 地震が心配



CASE 03 アパートやマンションを所有されている方



CASE 04 店舗など事業用物件を所有されている方



ご相談の際は、現在ご加入中の保険証券(共済証書)をご持参いただくとスムーズです。

JAの建物更生共済なら

建物更生共済

むてきプラス

10年間一定の共済掛金で

建物更生共済

My家財プラス

万全の保障を確保することができます。

継続特約を付すことにより、通算の共済期間を20年または30年にすることができます。

火災はもちろん、台風や地震などの自然災害にも強い保障です。

ほかにも…

洪水



豪雪



火山の噴火



地震による津波

お支払い例
最近の主な

平成30年 胆振東部地震

5,207件／

85億1,228万円

1件当たり約163万円のお支払い

主な被災地区：石狩、後志、胆振、日高、空知

※JA共済連北海道調べ（令和7年1月現在）

平成30年 台風21号

3,000件／

26億7,149万円

1件当たり約89万円のお支払い

※JA共済連北海道調べ（令和5年2月現在）

令和3年度 雪害

4,357件／

61億3,799万円

1件当たり約140万円のお支払い

※JA共済連北海道調べ（令和5年2月現在）

ご契約例

○共済の対象：建物（協定共済価額1,500万円） ○保障期間…30年（継続回数2回） ○臨時費用共済金の支払割合30%
 ○実損てん補特約付 ○火災共済金額…1,500万円 ○満期共済金額…50万円

火災・台風のとき	損害の額 + 臨時費用共済金 + 特別費用共済金 + 残存物とリカバリー費用共済金
地震のとき	750万円 × 損害割合 ※支払われる共済金は、損害の額の50%が限度です。
ケガ・死亡されたとき	傷害共済金
満期のとき	50万円 + 割りもどし金

●割りもどし金は、ご契約後7年目から5年ごとおよび満期時に受け取れますが、その都度変動し、経済情勢などによっては0となる場合もあります。
 ※各種共済金のお支払いについては所定の条件があります。

このご契約例の共済掛金

住宅物件・口座振替扱い 単位：円（令和8年4月1日現在）

	年払い	月払い
木造・防火造	81,725	6,981
省令準耐火等（耐火造B・C）	53,459	4,566
鉄筋コンクリート等（耐火造A）	43,907	3,756

※共済期間10年の契約に継続特約を付すことにより、通算の共済期間を20年または30年にすることができます。上記共済掛金は契約後当初10年間の共済掛金となります。継続後のご契約に適用される約款・共済掛金は、継続の時に約款・共済掛金率となります。

建物更生共済むてきプラスには、
家財を保障の対象とするプラン「My家財プラス」もあります。

■臨時費用共済金：火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害を受けたときに生じる臨時の費用に対して、火災・風水災等共済金の額の30%（または10%）をお支払いします。1回の事故につき、1建物について250万円が限度です。■地震の保障：地震等により損害割合が5%以上となる損害を受けた場合には、その損害に対して地震共済金をお支払いします。（損害の額の50%が限度）■残存物とリカバリー費用共済金：火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害を受けた共済の対象の残存物のとりこわし費用、とりかたづけ清掃費用、搬出費用をお支払いします。1回の事故につき火災・風水災等共済金の額の10%が限度です。■特別費用共済金：火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害割合が80%以上となる損害を受けたときに生じる特別な費用に対して、火災共済金額の10%をお支払いします。1回の事故につき、1建物について200万円が限度です。■傷害共済金：ご契約の建物に発生した火災等や自然災害によって、ご家族や居住者が200日以内に所定の治療、または施術を受けたときに火災共済金額の5%をお支払いします。10日以上以上の入院、または30日以上以上の入院または通院して治療もしくは施術を受けた場合にお支払いします（1人につき30万円を限度とします）。■満期共済金は継続回数を継続したあとのご契約の共済期間が満了した際にお支払いします。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意事項・情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

くらしのことアンケートキャンペーン

簡単なアンケートに答えるだけで豪華賞品が当たるチャンス！

応募はこちら

【お問い合わせ】

JA北いぶき

本 所 共 済 課 0164-33-2011
 本 所 共 済 普 及 課 0164-33-2011
 妹背牛支所 貯金共済課 0164-32-2451
 沼田支所 貯金共済課 0164-35-2221

【26019990051】



6月2日から4日まで、
各支所農機車輛工場にて
草刈機展示会を
開催しました。

PHOTO
だより



6月17日から18日、
JA新はこだて女性部
厚沢部支部と
「かたこもち作り体験」
を行う田坂智恵美部長



廃ビニール等の回収を行いました。
(妹背牛地区 7月2日、沼田地区 7月7日、
秩父別地区 7月9日)



6月26日、
本所にて消防訓練を
行いました



6月15日、
第2回農事組合長会議を
開催(妹背牛地区)



6月11日、
第3回現地研修会を
開催
(秩父別地区)

